

岐阜県立看護大学紀要 執筆要領

1. タイトルおよび著者氏名

- 1) 英文タイトルの表記は、先頭を大文字とし、冠詞、接続詞、前置詞以外は単語の先頭文字を大文字に、ハイフンで単語と単語を結んだ場合、ハイフンの前後に空白は入れず、前後の単語ともに先頭を大文字にする。英文サブタイトルをつける場合は、メインタイトル末に「:」を挿入し、和文タイトルで使用する「～」等は用いない。
- 2) 論文の著者氏名の英文表記は、「名 → 姓」の順とし、姓、名ともに頭文字のみ大文字にし、他は小文字にする。

2. 本文原稿

- 1) 句読点は、「、」「。」を用いる。
- 2) 数値の表示には算用数字を用い、半角で入力する。
- 3) 英文・英文字、記号は原則として半角で入力する。
- 4) 日本語表記の本文中に出てくる括弧は、すべて全角で入力し、括弧で閉じる（」）前の句点は記載しない。
＜例＞今回の研修は、まず「WBL とは一体何ですか」という疑問を・・・
- 5) 本文に頁番号を付ける。
- 6) 見出しには、文献、謝辞、註以外はすべて通し番号を付ける。
- 7) 見出し番号は、I. → 1. → 1) とし、これ以下は(1)もしくは①とする。なお、見出し番号につけるピリオドや括弧は全角で記載する。
- 8) 見出し名の末尾に（表 1）（図 1）といった図表の表記は付けない。
- 9) 研究倫理審査を受け承認されている場合は、承認番号と承認年月を記載する。
- 10) 補足説明のための註をつける場合は、本文中に括弧書きで註の通し番号を記し、後註として本文（考察、結論等）の末尾、謝辞・文献の前に説明を記す。
＜例＞退院支援チェックリスト（註 1）の活用に向け・・・
- 11) 共同研究事業、看護実践研究指導事業、学位論文等との関連を論文末尾に記載する。

3. 図表

- 1) 図表には、図 1、表 1 のように番号を振り、適切なタイトルを適切な位置に付ける。
- 2) 図表は、いずれも 1 枚の用紙に 1 枚の図または表を書き、字数換算した文字数を付記する。また、本文原稿の右側欄外に図表の挿入箇所を明記する。
- 3) 図表は原則縦置きとし、原本のまま印刷できるものをワード、エクセル、パワーポイント等で作成し、本文のファイルとは別に保存し、提出する。原則として表では縦罫線の使用は最小限にとどめ、左右両端の縦罫線は引かないものとするが、文字数が多く見づらい場合などは適切に罫線を引く。フォントは 8 ポイント以上とし、原寸大で作成する（縮小は行わない）。以下の参考に字数換算した文字数を付記する。

紀要冊子 刷り上がり	1 ページ分	: 参考文字数 2000 字
	1/2 ページ分	: 参考文字数 1000 字
	1/4 ページ分	: 参考文字数 500 字
	1/8 ページ分	: 参考文字数 250 字

4. 文献

文献の記載はアメリカ心理学会のスタイル（APA スタイル）を用いる。

【本文への引用】

- 1) 文献は、本文中に著者名、発行年次を括弧表示するが、著者が複数の場合は筆頭者だけを挙げ、例示 1、2 のように表示する。
＜例 1＞ 羽島ら（2013）は、・・・を〇〇と△△に分類している。
＜例 2＞ ……は〇〇と△△に分類される（羽島ら，2013）。
- 2) 複数の異なる著者の文献を同一箇所でも引用する場合は、セミコロン「;」で区切って、筆頭著者の

アルファベット順に並べる。

＜例＞〇〇と△△に焦点を当てた研究（佐藤，2012；田中，2010）では、…。

- 3) 英文表記の氏名の場合は、「ファミリーネーム（姓），ファーストネーム（名）のイニシャル。（あればミドルネームのイニシャル）」となる。

＜例1＞Hashima, T. ←Hashima Taroh（羽島太郎）の場合

＜例2＞Stuart, G. ←Gail Stuart（ゲイル・スチュアート）の場合、Gail が名で Stuart が姓であるため

- 4) 翻訳書は、「原著者名（原書の発行年次/翻訳書の発行年次）」と記載する。

＜例＞ヘンダーソン(1969/2016)

- 5) 単行本からの本文引用が複数箇所にあたる場合は、文献リストには頁を記載せず、本文中の引用箇所に、下記例示のように該当ページを記載する。

＜例＞羽島(2013, pp.1-2) もしくは (羽島, 2013, pp.1-2)

【文献リスト】

- 6) 著者姓のアルファベット順に並べ、同一の(共)著者による複数の文献は、単著を共著の前におき、出版年の昇順に並べる。著者名は3名までを表記し、4人目以降は省略して「ほか」「, et al」と記載する。なお、法人の種類（一般社団法人、医療法人等）の記載はしない。

(1) 雑誌掲載論文

著者名. (発行年次). 論文題名. 雑誌名, 巻(号), 頁-頁.

＜例＞

岐阜花子, 羽島太郎, 大垣次郎ほか. (2000). 岐阜県立看護大学の教育・研究内容. 岐阜県立看護大学紀要, 1(1), 1-10.

Suzuki, A., Tanaka, E., Yamada, K., et al. (2009). A new mental health care model. *Mental Health*, 14, 46-55.

(2) 単行本

同一書籍からの本文引用が1箇所の場合は、下記①②の書式を使用する。単数ページの場合は「p. ○」、複数ページの場合は「pp. ○-○」で表記する。初版（第1版）の場合は、原則として版数を記載しない。

①著者名. (発行年次). 書名(版数)(p. 頁あるいはpp. 頁-頁). 発行元.

＜例1＞引用箇所が単数ページの場合

岐阜花子, 羽島太郎. (2013). 看護実践研究入門(第2版)(p. 10). 岐阜県立看護大学出版会.

＜例2＞引用箇所が複数ページの場合

岐阜花子, 羽島太郎. (2013). 看護実践研究入門(第2版)(pp. 10-15). 岐阜県立看護大学出版会.

②著者名. (発行年次). 表題名. 編者名(編), 書名(版数)(p. 頁あるいはpp. 頁-頁). 発行元.

＜例1＞引用箇所が単数ページの場合

羽島太郎. (2013). 岐阜県の看護の歴史. 羽島太郎, 岐阜花子(編), 岐阜県の看護 1(第2版)(p. 100). 岐阜県立看護大学出版会.

＜例2＞引用箇所が複数ページの場合

羽島太郎. (2013). 岐阜県の看護の歴史. 羽島太郎, 岐阜花子(編), 岐阜県の看護 1(第2版)(pp. 100-110). 岐阜県立看護大学出版会.

(3) 翻訳書

原著者名. (原書の発行年次/翻訳書の発行年次). 翻訳者名(訳), 翻訳書名(版数)(pp. 頁-頁). 発行元.

＜例＞

ヴァージニア・ヘンダーソン. (1969/2016). 湯楨ます, 小玉香津子(訳), 看護の基本となるもの(再新装版)(pp. 8-9). 日本看護協会出版会.

(4) 電子文献

著者名またはサイト設置者名. (発行年次). タイトル. 入手日(アクセス日). アドレス

＜例＞

岐阜県立看護大学紀要委員会. (2001). 紀要投稿マニュアル. 2013-4-1. <http://www.gifu-cu.ac.jp/journal/manual.html>

- 7) 同一著者、同一出版年の複数の文献はタイトルのアルファベット順に並べ、出版年の直後にアルフ

アベット小文字で a から順番に添え字を付す。

<例>羽島太郎. (2005). . . .

羽島太郎. (2012a). 看護上の . . .

羽島太郎. (2012b). 臨床における . . .

羽島太郎, 岐阜花子. (2007). . . .

羽島太郎, 大垣次郎, 岐阜花子ほか. (2011). . . .

- 8) 文献リストの表示にあたっては、カンマ「,」やピリオド「.」は半角で、後ろに半角スペース（空白）を1文字分とり、括弧（ ）は半角で表記する。

(令和6年4月改正)